

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
15	療育	お母さんの教育実習	小川 仁	東京学芸大学	10.3	400
<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ことばには、習う時間と習ってから使う時間という区別がありません。強いて言えば、習うだけの時間はなくて、使うことがそのまま習うことです。ですから、ことばを身につける時期の子どものことばの先生は、終始子どもと一緒にいて、あれこれおしゃべりし合う関係の人でなくてはいけません。それには、お母さん以上に適切な人はありません。」と著者は提言します。 ・ 「ことば」に関する基礎的なことについて20ページほど、その他はすべて「実習」で22項目にわたって述べられています。 						
<p>目次</p> <p>ことばの先生はあなた パンフレットの構成</p> <p>基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間生活とことば 2 ことばの習得と使用 3 ことばの働き 4 ことばとコミュニケーション 5 ことばを身につける 6 学校教育とことば 7 ことばの治療指導 <p>実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ことばの先生の資格10カ条 <ul style="list-style-type: none"> (1) 簡単なことばを使い具体的に話す (2) 子どものことを他人任せにしない (3) 子どもと遊びにつよくなる (4) 子どもが懂れる人に (5) 待つのが上手 <p style="text-align: right;">・・・以下略</p> 2 ことばの指導12則 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全体のバランスを考える (2) 子ども本人にいま役立つ (3) 聞きたいことがあるとわかっているの、区別 (4) 叱ったり怒ったり・・・ (5) かえってこない瞬間を大切に <p style="text-align: right;">・・・以下略</p> <p>ひとこと・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お母さん向けの冊子ですが、ことばの担任の先生方にもお勧めしたい一冊です。 <p>このパンフのおすすめ・・・*未だ、寄せられておりません。 【よろしかったら、お読みになって「パンフのすすめ」を、図書館トップページのEメールアドレスにデータを入力してみませんか】</p> <p>備考 *初版はH1:年2月</p>						

